

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和2年度第3回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	令和2年10月27日(火)		
開催場所	小金井市 中間処理場		
出席者	委員	<出席者：11名> 渡辺会長・大江委員・岡山委員・石田委員・勝又委員・岸野委員 土屋委員・山田委員・黒須委員・石原委員・林委員  <欠席者：4名> 齋藤委員・多田委員・波多野委員・堀越委員	
	事務局	深澤ごみ対策課長・花野ごみ処理施設担当課長兼中間処理場担当課長・府川・高田・信岡	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 (1) 会議録の確認について (2) 令和3年度ごみ・リサイクルカレンダーの表紙絵について 2 議 題 (1) 一般廃棄物処理手数料(動物の死体)の見直し等について(諮問) (2) 令和3年度一般廃棄物処理計画について(諮問) (3) 小金井市一般廃棄物処理計画における評価基準の検討について 3 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	<p>これより令和2年度第3回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。</p> <p>本日の欠席委員について、齋藤委員・多田委員・波多野委員・堀越委員より、欠席の連絡を事前に頂いている。</p> <p>次に、本日の進行及び配布資料についての確認を事務局からお願いしたい。</p>
府川減量推進係長	<p>(配布資料確認)</p>
渡辺会長	<p>前回、令和2年度第2回審議会の会議録について、意見・修正があれば申し出ていただきたい。</p>
石田委員	<p>10ページ中の私の発言の中で、平成3年度4年度とあるが、正しくは令和として訂正願いたい。</p>
渡辺会長	<p>他になければ一部訂正の上、事務局にて公開手続きに入る。</p> <p>次に、令和3年度ごみ・リサイクルカレンダー表紙絵の応募作品の選考に入る。</p>
高田係長	<p>(令和3年度ごみ・リサイクルカレンダーの表紙絵選考)</p>
渡辺会長	<p>次に、本日の審議会では、「一般廃棄物処理手数料(動物の死体)の見直し等について」及び「令和3年度一般廃棄物処理計画」についての諮問を受けることになっている。後ほど事務局から説明があるが、まず始めに諮問を受けたいと思う。</p>
深澤ごみ対策課長	<p>本来ならば、市長からお渡ししなければならないが、公務の関係で、私が代理を務めさせていただく。</p> <p>(諮問書受け渡し)</p>
渡辺会長	<p>それでは、それぞれ審議に入る。</p> <p>2議題(1)一般廃棄物処理手数料(動物の死体)の見直し等について、事務局より説明をお願いします。</p>
深澤ごみ対策課長	<p>(「一般廃棄物処理手数料(動物の死体)の見直し等について」</p>

(審議過程) 主な発言等

	説明)
渡辺会長	事務局からの説明に対して、意見・質問はあるか。
石原委員	年間の件数はどのくらいであるか。
高田係長	手数料として3,000円徴収しているのはペットとして飼っている動物を埋葬する場合であり、令和元年度22件、平成30年度24件、平成29年度が21件となっている。路上で死んでいる動物は手数料を徴収せずに委託料のみ発生するが、令和元年度122件、平成30年度170件、平成29年度130件となっている。
渡辺会長	飼っている動物は飼い主が負担し、飼い主がいなければ市の負担という理解でよろしいか。
高田係長	今回の手数料の改定については、飼い主が負担する部分である。
勝又委員	自宅の周辺に生息しているハクビシンやタヌキ等が、敷地内で死んでいる場合の費用負担はどうなるのか。
高田係長	原則としては土地所有者の負担となるが、個別の状況に応じて路上で死んでいる動物と同様の扱いとするケースもある。
山田委員	府中市にある慈恵院というところは自前の焼却施設を持っているのか。
石原委員	持っている。
渡辺会長	他になければ、今回の審議内容を踏まえて、次回までに事務局にて答申案を準備するようお願いする。 次に、2議題(2)令和3年度一般廃棄物処理計画について、事務局より説明をお願いする。
深澤ごみ対策課長	(「令和3年度一般廃棄物処理計画の諮問案について」説明)

(審議過程) 主な発言等

府川減量推進係長	(「令和3年度一般廃棄物処理計画の内容について」説明)
渡辺会長	今回の案は令和3年度のごみ量や処理に関する事等、主要な部分が未記入であり、不確定な要素が多いので次回以降に確認する。また、個別の施策内容についてはこの後のロードマップの議論の中で行うことにしたい。全体を通して不明点など質問はあるか。
黒須委員	ごみを減らすための啓発運動は最重要だと思う。以前見た中で、他市ではごみ袋にQRコードを付けており、これを小金井でもできないか提案したところ可能であると聞いた。しかし最近袋のデザインが変わったのにQRコードが付いていないが、それはなぜか。
高田係長	検討はしたが、QRコードを設置するスペースの確保が難しく、空きスペースに合わせてQRコードを小さくすると読み取ることができない状況であった。読み取るには一定の大きさが必要で、そのためには他の文字のスペースを削る必要がある。表記の優先順位等もあり、今回は付けることができなかった。
林委員	しかし、他市では実際に実施しているということは踏まえる必要がある。
高田係長	各市の考え方もあるが、小金井市としては、結果として標語やメッセージ等を優先した。
黒須委員	文字よりもQRコードを優先していただきたいかった。アプリが利用できれば、ごみを捨てる時に分別に迷った際にすぐに見てわかることである。市によって分別方法が違うので、そこでアプリを見ることができれば大変便利である。
高田係長	次回にまた検討させていただく。
岸野委員	袋の大きさによって異なるのか。
高田係長	袋の大きさや容量によっても異なる。

(審議過程) 主な発言等

石原委員	QRコードは1センチ角ぐらいで読めると理解している。
渡辺会長	印刷の質等は考慮する必要はある。
林委員	<p>黒須委員の意見が過去の議事録に残っていると思うので、そういったこともフォローしてもらいたい。</p> <p>本日は、事前配布された計画(案)を確認後、私の意見としてまとめたものを事務局に依頼して机上配布している。表面が一般廃棄物処理計画(案)、裏面がロードマップに関する意見である。</p> <p>まず、1の①、施策及び取組内容の表であるが、前年度の処理計画から変更されており、取組内容と具体的な取組のみとなっている。前年度は具体的な取組の中で「例」という言葉が入っていない。それから、年度の活動指標が入っていない。前年度はかなりシンプルに変更しており、今回の記載方法でいう年度の活動指標と具体的な取組例との整合がうまくいかなかったため、前回は具体的な取組のみになっているが、具体的な取組の記述を増やしていただきたい。</p> <p>次に、②、セブンイレブンとの連携について記載があるが、これはまだ設置されていない。</p>
深澤ごみ対策課長	確かに現段階では検討である。
林委員	<p>③、一番下のグラフであるが、平成30年最新実績と記載しており、令和元年に改める必要がある。</p> <p>④、フォーマットは問題ないが、年度の活動目標については結果が評価できるようにできるだけ具体的な活動達成目標にする必要がある。ロードマップの話ともリンクするが、この内容だと抽象的であり評価ができない。コロナの影響で様々なことができないと言う一方で、目標に対しての達成度が言えないのは年度の活動目標がやはり抽象的、概念的にとどまっているからである。よって、評価できるものに設定しなおす必要があると感じている。</p> <p>⑤、「生ごみ減量化処理機器購入費補助制度の利用促進」について、令和3年度も引き続き補助制度の見直しを行うのか。市がこれからも5万円の補助を続けるというのであればそれで</p>

(審議過程) 主な発言等

深澤ごみ対策課長	<p>もよいが、3市共同処理が始まり、これまでの費用対効果等を改めて評価すべきではないかと思っており、市に対して要望させていただきたい。</p> <p>検討させていただく。</p>
林委員	<p>乾燥生ごみも同様である。年間で個別回収と拠点回収の合計が50トン弱であり、費用を掛け過ぎではないかと考えている。剪定枝は1,500トンと増加している。処理先が同じかどうか不明であるが費用対効果を考えていただきたい。</p> <p>⑥、ごみゼロ化推進員の活動の支援と推進、制度見直しに向けた協議とあるが、ごみゼロ化推進員と今後の対応をどうするか決めればよいだけの話だと思っている。</p> <p>⑦、災害廃棄物処理計画は策定してから2年が経過している。計画に基づく体制の整備はどこまで進んでいるのか。再び災害時体制の整備というのが令和3年度の具体的な取組となっているが、もう少し具体的に実施内容を決めていただきたい。</p> <p>⑧、(2) 拠点回収について、コンタクトレンズ空ケースの拠点回収を開始したので、加えてもよいのではないと思う。</p>
渡辺会長	<p>恐らく④以降は次の議題である評価基準と連動する部分が大きいと思っている。①から③はいかがか。</p>
岡山委員	<p>セブンイレブンの連携については、検討という形であるなら令和3年度に移動すればよい。</p>
石田委員	<p>5ページから7ページの活動指標については、前年度はなかった項目を入れるにしても活動指標でなく活動目標だと思うので修正の必要がある。</p>
渡辺会長	<p>林委員はそもそも年度の活動目標の項目は表にいらぬのではないかと発言している。</p>
林委員	<p>5ページから7ページに関してはである。本来であれば目標設定をきちんと設定しておけばよかったのにそれができてい</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>なかったこともあるが、それ以外にもやはりコロナ禍で評価しづらいことから、実際にこういう取り組みをやりました、ということだけを書けばよいと思う。前年度もそういう書き方で終わっている。結果としてABCの評価を行う必要がなくなった。</p>
渡辺会長	<p>9ページのグラフが平成30年度となっているのは単に前回からの名残ではないのか。</p>
府川減量推進係長	<p>前回から引き続き同じ表になっており、本来であれば令和元年度の最新実績を記載する必要がある。</p>
石田委員	<p>3ページの上の表のごみ量データの中でR1となっている項目があるが、令和2年度のデータは評価の対象にできないからコロナの影響のない令和元年度を意図的に書いてあるのか。そうであるならどこかに注釈をつけなければならないのではないか。</p>
渡辺会長	<p>前年度となる令和2年度の処理計画におけるR2の項目は当該年度の処理見込み量であり、今回は令和3年度の処理計画なのでR3の処理見込み量が入ることになる。左側はこれまで直近の確定数値を出しており、今回はR1となるので、このままでよい。</p>
岡山委員	<p>令和2年度のところでアプリやツイッター、今後はユーチューブを活用していくと説明があったので、それは令和3年度のところにも書くべきである。それから、例えば先ほどのQRコードの件については、14ページの「4. 分別・啓発活動の強化」の「(1) 正しい分別方法の周知と徹底」の中に、具体的な取組例として、実施としないまでも検討等で入れてもよいと思う。実際に実施すればより分別がやりやすくなる。</p> <p>次に、4の(5)の「見える化」については、何の見える化なのか書かずに計画化した経緯がある。先ほど指摘のあった生ごみ処理機や生ごみ投入とも関係はするが、小金井市では乾燥生ごみを回収後に堆肥としてリサイクルし、市内で堆肥を使用してできた野菜がすでに市内学校給食で使われており、一連の</p>

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	<p>スキームが整っている。それを、例えば「くるかめ給食」と名付けて小学生に見える化してはどうか。先ほどの大型生ごみ処理機の話もあったが、このような事業をもっと知ってもらうことで、逆に促進されるかもしれないし、同時に、市施設に設置している処理機の投入利用者が増加するというように波及効果がいろいろ見込まれる。</p> <p>処理計画の中では来年は何に見える化しようかというのがあってもよい。キャラクターを用いてラベル付けやネーミング等を行ってより意識できるようにしたり、ごみを処理するのに各々どれくらい費用がかかっているのかという情報を公開するところも見える化の一環だと思っている。いろいろ見せるべきものはあるのではと思うので、令和3年度処理計画では具体的に何を実施するかを記載するよう要望する。</p>
石原委員	<p>②のセブンイレブンとの連携について進捗を確認したい。令和2年度中に実施すると聞いている一方で場所等の問題があると聞いている。</p>
深澤ごみ対策課長	<p>実際に現在いくつかの課題があり、解決の方向性が見えていない状況である。他市と小金井市では状況が異なるところもある。例えば、他市は清掃共同事業組合で収集運搬を行っているが、小金井市には組合のようなものはないため、どこかの収集業者にお願いすることとなる。また、セブンイレブン側はベール化を要望しているが、こちらとしてはベール化については難しい。我々としてもセブンイレブンと話し合いを続け、本年度中の実施という目標に向けて取り組んでまいりたい。</p>
石原委員	<p>引き続き実施に向けて検討をお願いしたい。ごみゼロ化推進会議の事業所部会でも議論してきた。</p>
深澤ごみ対策課長	<p>重々承知しているが課題を解決しない限りはできない。そこはご理解いただきたい。</p>
府川減量推進係長	<p>いただいたご意見を踏まえて、令和2年度中の実施を目標に検討していく。</p>

(審議過程) 主な発言等

山田委員	⑤について、林委員と同様に感じている。3市ごみ減量市民会議に林委員と一緒に小金井市代表として出席しているが、日野市、国分寺市とともにごみ減量を推進していくときに、会議の場にてどの程度まで説明してよいか迷うこともある。本審議会にて議論されていることは随時答えを出していき、考えていることを伝えていただきたい。
林委員	3市ごみ減量市民会議において、生ごみ処理機をもっと使用してよいのではないかという意見もあるし、小金井市が多額の費用を掛ける一方で、そこまで費用をかけられないという意見もある。小金井市としては、今後補助を止める方向でいくのか、これからも生ごみ処理機の普及拡大を市民にアピールしていくのかわからない。先日放映されたテレビ番組を見る限りでは、小金井市民は皆、生ごみ処理機を持っていて、どんどん進めていくのだと思ってしまう。推進するとは言うものの、実はお金が結構かかっている、市は悩んでいるという状況が分からない。
深澤ごみ対策課長	番組からは、循環型社会というテーマで取材したいと申し出があった。事前に小金井市におけるこれまでの経過を踏まえて可能な限りごみ減量するため、多額の費用負担を講じているのを前提として話をしたうえで取材を受けている。
林委員	視聴者がそこまでとらえることは不可能である。
深澤ごみ対策課長	そういう事情を理解したうえで取材させてほしいという依頼があったことから受けることにした。 山田委員に伺いたいが、生ごみ処理機について、市では、一定浸透しているという認識であるが、あまり普及していないということか。
山田委員	本審議会の中で話を聞いていると普及していないというニュアンスで受け取っていた。
石原委員	例えば故障して修理できないなど、所有しているが稼働していないと思われる。

(審議過程) 主な発言等

林委員	<p>年間1,000万円ぐらいの予算を講じて300件弱の申し込みを受けているのだから、生ごみ処理機のマニュアルやユーザー会等を作り、使えない人や使わなくなった人が出ないようにアフターケアも実施する必要がある。ごみゼロ化推進会議の啓発部会で検討しており、市にも一緒に考えていただきたいと思っている。</p>
高田係長	<p>生ごみ処理機の補助は、何年も年間300件弱が続いているが、令和元年度は件数が少なく200件に届かなかった。しかし、今年はコロナの影響で皆さんが在宅しているということもあって非常に伸びが良い。補助を受けて処理機を購入してから2年間経過後にアンケートを実施しており、約75%の方が再度申請または再度利用したいと答えており、我々としては決して使い勝手が悪いというようには考えていない。ただ、大型生ごみ処理機に関しては申請がなく、我々もかなり制度を変えていかなければならないと本審議会にて発言しており、そこを誤解されたのではないかと考えている。</p>
林委員	<p>5万円補助しているのであれば市はもっと積極的に宣伝してもよいはずなのに、私はほとんど見たことがない。ポストに民間業者が作った宣伝チラシが入っていることがあり、市民の皆さんはそれを参考にしている。本当に市が5万円出す価値はあるのか。</p>
高田係長	<p>そもそも、市の積極的な宣伝という点では広報媒体が市報、アプリ、ホームページ等に限定される。宣伝チラシは、個々の事業者が自分の製品を売るために独自でチラシを作成し、ポストに投函しているものである。我々は、随時ごみ特集号でも掲載しており、申し込みが少ないときに、希望者は申し込むようお知らせをするなどしている。このところで機器メーカーの新商品の入れ替え等があり、これまでの価格よりも割高になっていることで申請件数に多少影響が出るとは感じている。</p> <p>補助金の金額に関しては、市としてもかなりの金額を支出していることは認識しており、しかるべき時期に補助率、補助金額等を見直してまいりたい。</p>

(審議過程) 主な発言等

林委員	<p>税金を適切に使用するのであれば個人的には5万円でも構わない。しかし、啓発強化としている中で、年4回のごみ特集号というような限られたものでしか実施しないのはなぜなのか。もっと、「生ごみ処理機の購入費を市が補助します皆さん使ってください」といった、市の作成するチラシがあってもよいと思う。啓発も今までのやり方を踏襲するものが多く、もっと新しいやり方を考えて実施してもよいのではと感じている。</p>
岡山委員	<p>毎年審議会で評価するとき、事業の達成状況を件数だけでしか聞いていなかった。しかし、先ほどの話では好調に伸びているということであり、毎年300件の応募があるのであれば、私は止めるべき施策ではないと思っている。減額しなくてもそれで反応があるのであれば現状維持でもよいのではないか。一つ確認したいが、家庭で乾燥した生ごみは小学校の大型の処理機に投入されるのか。</p>
林委員	<p>市が回収している。</p>
岡山委員	<p>そうすると、別途回収費用が掛かっている。小学校にある生ごみ処理機はリースと聞き及んでおり、昨年、その費用と別の業者の処理機を置き換えた場合の費用を比較してもらったことがあるが、結果はそれほど変わらなかった。しかし、比較した業者の場合は、投入後は市の作業が不要となること、また、小学校や町内会に対しての説明会、エコクッキング等のイベントスタッフを派遣し、PRを行うといったメリットがあった。費用削減を考えるときには、単純に金額のみを比較するのではなく、このようなことも含めて検討していただきたい。</p> <p>それから、約50トンの乾燥生ごみ回収量が上がらないのはやはり普及啓発が足りないと感じる。</p>
林委員	<p>数が限られているからではないか。現在何件ぐらいが継続して使用しているのかということである。年間300件が10年続けば3000件になるが、既に止めた人も予想される。</p>
岡山委員	<p>乾燥生ごみとして出すのは手間だから燃やすごみで出す方もいると思う。1つの選択肢として、もちろん回収されるのが</p>

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	<p>楽である側面もあるが、生ごみのまま小学校に出しに行けるのならそれも選択肢だと思う。</p> <p>小学校に投入できるのであれば自宅で乾燥する必要もなくなる。</p>
林委員	<p>現在の小金井市では、通常時は小学校に投入できない。基本的に夏休み期間と、あとはボランティア主導の土曜生ごみ投入がある。</p>
岡山委員	<p>乾燥させれば1週間はもつ。したがって乾燥型処理機と土曜日が繋がることになる。</p> <p>食育について私が実施しているのは、家庭系ではなく事業系である。家庭系の方は、消滅する段ボールコンポストである。</p>
渡辺会長	<p>5万円出すことが本当に有効なのかというところは考える必要がある。例えば、もう少し費用対効果の高い何かができることがあるかもしれない。</p> <p>例えば、施策にある学校投入の方に費用を回して支援するなど、他のやり方もあると思う。</p>
林委員	<p>5万円にこだわっているわけではなく、要するに費用対効果を一度きちんと確認して欲しいということである。</p>
大江委員	<p>施策を検討したとき、限られた予算の中で小金井市は生ごみ処理機に着目し、結果として全国的にも突出していた。これまで費用対効果も含めて確認することとして何回も調査を行っていたが、それを整理、分析できていないのが現状である。生ごみ処理機に固執することなく、他の施策の方にも費用を出せるようになった時に、生ごみ処理機の評価が出ていればスムーズに進めることができる。そう考えると、もう少し総合的に検討していく時期にきているのではないか。</p>
岡山委員	<p>17ページの災害廃棄物処理計画に基づく体制の整備について林委員よりご指摘があったが、災害時にその場で体制を整備するためには庁内連携が非常に重要である一方、非常に難し</p>

(審議過程) 主な発言等

渡辺会長	<p>い。庁内連携は置いておくにしてもやはり廃棄物部署での図上訓練といったものを出してもよいのではないかと思う。体制の整備及び訓練など、何か1つ入れておいてもよい。</p> <p>続いて、2議題(3)小金井市一般廃棄物処理計画における評価基準の検討、いわゆるロードマップに入る。これまでの経緯を踏まえつつ、まず仕切り直してロードマップの目的や位置づけ、進め方等について改めて事務局より説明願いたい。</p>
府川減量推進係長	<p>(ロードマップについて説明)</p>
渡辺会長	<p>一点確認したいが、イメージとなっている令和2年度PDCAシートについて、要するに、実際に委員に配るときにはこの委員評価や計画への申し送り、次年度マップ、次々年度マップの項目は空欄であり、施策の実施と課内評価を見たうえで我々が評価、申し送り及び次年度マップ等を整理していくということによろしいか。</p>
府川減量推進係長	<p>令和元年度分はそもそもロードマップが始まっていないことから、次回提出する際には実績のみを記載し、次に令和2年度の上半期年次計画、施策の実施及び課内評価までを記載したものを提出したいと考えている。</p>
渡辺会長	<p>当該シートの委員評価から4項目は審議会の中で埋めていくということになるのか。それから、例えば来年度に入って令和3年度のPDCAシートに取り掛かるが、このシートを見ると令和2年度の評価と令和3年度の上半期に関しての評価と別々に審議委員が評価を出さないといけないと思われる。それらを一括して評価し、次への申し送りという形でもよいと思うが、項目を意図的に分けているのか。</p>
府川減量推進係長	<p>年度の区切りとして分けているが実際は1つの施策であり、審議していく中では令和2年度及び3年度の状況を総合的に踏まえた中でそれ以降に繋がっていくものと考えている。</p>
林委員	<p>PDCAシートについて、これは何を評価するのか。取組と</p>

(審議過程) 主な発言等

石田委員	<p>目標が対比させられないままにロードマップがあるのはいか がなものか。目標としてロードマップに書くのは、先程の処理 計画にある年度の活動目標と関連することになり、さらに具体 化した年度の活動目標があり、その内容がロードマップの重要 項目の中に書かれたうえで、その活動目標に対してどこまでで きたかというのを評価していくというのがよいと思う。</p> <p>まずは、基本計画及び処理計画が最重要であり、それをサポ ートするためにロードマップがある。確かに1年度だけ羅列的 に書くのは目安としてはよいが、これではPDCAは難しい。 このPDCAを行うことによる大事な要素の1つとして、予算 がある。予算を確保するためには1年遅れが生じることになる。 遅れるという前提で進行するならば、それも1つのやり方では ある。現在の形であれば、形式的な話だけで評価することにな り、本当の意味でのフィードバックは難しい。したがって、そ の部分を見直すためにロードマップが必要で、そこが大事であ る。本当にフィードバックを実施するのであれば実態に伴う必 要があり、1年遅れるという前提で評価を入れて、フィードバ ックを行う流れを作らないといけない。</p> <p>全体的な進め方は悪くはないと思っており、将来的な部分は どうなるか分からないことからそこに時間を掛けるのではなく、 今年であればその実績がいつ出ていつまでに予算ができて 計画を見直したりできるかという表を作った方がよい。</p>
林委員	<p>ロードマップとは最終目標を明確にしてそれに向けての取 り組みの途中経過を明らかにするものである。その最終目標に 到達するまでの各年度の目標を設定して進捗状況を確認し、必 要に応じて次年度の対応を見直す。そもそも最終目標を10年 後に設定する必要があるのか。今からせめて5年後ぐらいまで じっくり計画するのがよいのではないか。</p> <p>それから、今回のロードマップ案は年度ごとの作業単位が長 すぎるように思う。1年ごとに検討を行い、試行して制度の構 築まで3年掛かる。この時間軸ではすぐに取り掛かれることが 行動に移せないのではないかと危惧する。改めて、なぜロード マップが必要なのかという部分に立ち返って検討していただ きたい。</p>

(審議過程) 主な発言等

岡山委員	<p>昨年度ロードマップ案を作成した際、どうしても1年遅れてしまうということはわかっていたので、提案されたのは、年度の間で、例えば組成分析の検討であれば、まずその時点で分析結果は出ているのか、計画の情報収集をしているのか、といったことを確認する。そして、今年度はどういう予定なのかを聞きながら評価をしていく、というように実施するしかない、ということで中間を入れた案であったと記憶している。</p> <p>先程の生ごみ投入リサイクル事業の課題抽出というのも、小委員会で実施した研究結果を活用する、あるいはもう一度同様なことを実施してもよいと思うが、今年はコロナの影響もあり、時期的に不可能となるとさらに後退していくこととなり、今ここで議論するのは難しいと思う。</p>
渡辺会長	<p>処理計画については今年度中に答申しなければならず、計画を基本としつつ、それをサポートするためにロードマップがあると考えている。しかし、ロードマップが足かせとなり計画ができないとなると本末転倒である。</p>
林委員	<p>一度ロードマップから離れ、処理計画内の年度の活動目標を再度見直したい。</p>
岡山委員	<p>これは目標なので、目標に到達するために来年度何をするかという事業を明らかにすべきである。</p>
林委員	<p>基本計画を見て改めて驚いたのは、アンケート調査の中で、例えば分別の徹底について、分からないものは混ぜて出していると答えた人が34%もいる。これはなんとかしなければと思う。それから環境学習については91%が実施していることを知らないと答えている。集団回収の事業も知らないと答えた人が37%いる。</p>
岡山委員	<p>分別が分からない人が多いのであれば、計画には分別を徹底すると記載してあるので、先程の黒須委員が指摘したQRコードを付けるということが重要となる。</p>
林委員	<p>市は年に4回市報ごみ特集号を出していると言うが、それだ</p>

(審議過程) 主な発言等

岡山委員	けではなく、それに加えて何かが必要だと考えている。  ロードマップ案にある食品ロスの組成調査というのは、計画策定のために行うものであるため分ける必要はなく、実際は並走していく。また、最終目標については、食品ロス削減推進法で定めている計画では10年後までに半減となっており、それを目標にして進めればよい。
林委員	そこに向けて今年何%ぐらい減量したかという。
岡山委員	実態を明らかにするのが組成調査であるので、その内容を踏まえて計画を作るという流れ自体は問題ない。
渡辺会長	10年後半減とあれば、毎年の目標数値を出さなくても組成分析の進捗はどうであるとかという目標でもよいのでは。
林委員	今年度はそれでもよいと考える。
岸野委員	あまり細かくしない方が、一般の方にも説明しやすい。
石原委員	目標の中でごみの出し方というのであれば、おそらく戸建ての家は概ねできていると思っている。例えば、「今回の重点は集合のアパート」ということであれば、徹底的に広報活動を行い、住人だけではなく管理人にも展開していかないと難しい。もちろん限られた予算の中で行うことから難しい部分がある。
岸野委員	例えば往来の多いイトーヨーカドーの広場で環境フェスを開催し、ツイッター等を用いて市民へ向けてアピールして参加を働きかけることを要望したい。SDGsも重要となっており、一人一人ができることから行う必要がある。
渡辺会長	今後の進め方であるが、今回は今回の処理計画の中で中身が不確定となっている部分が確定し、より具体的な取組内容等の議論も可能となると考えている。これと並行して、事務局にてロードマップ関連で具体的に今年度中にはこれをやりたいということを示していただき、まずは実施してみるというように進

(審議過程) 主な発言等

林委員	<p>めていくしかない。</p> <p>今はロードマップを作成しなくてもよいのではないか。処理計画の議論を進める際にはPDCAを意識しつつ、中身も定型化して、ある程度慣れてきた場合に初めてロードマップに落とし、もう少し先の予定まで見てみる。我々が行ったPDCAの作業は大変な作業量であった。あれをなんとか軽くして作り替えようということだったが、今はロードマップを重視しなくてもよいと思っている。それよりも処理計画にある活動目標を一つずつ具体的なものとし、令和3年度にやる目標を、今より具体的に落とし込めれば、活動を評価できるようになる気がする。</p>
石田委員	<p>私も同感である。まずは処理計画をきちんと作ることである。</p>
石原委員	<p>市内のあちらこちらで戸建ての計画が進んでいる。また、東小金井駅と武蔵小金井駅の間の高架下に学生寮らしき集合住宅が相当建てられていることから、転入者が増えることは必至である。とにかく転入する方々に周知徹底を行っていかないとごみの量は増える一方となってしまう。その辺を具体的に言い、数値目標も含めて作るのが今年度の仕事ではないのか。</p>
石田委員	<p>若い方々は決して無責任や無関心ではなく、しっかりと伝えれば守ってもらえると思う。コロナ禍でのマスクの着用問題についても、マスクを着用していない割合をみても、若者は意識してきちんと着用している。彼らはネット等で調べる能力が高いので、見てもらいたいところを明確に伝えれば効果は相当違うと思っている。</p>
渡辺会長	<p>今後の進め方として、処理計画を優先的に進めていきたいと考えている。事務局からはロードマップ関連で何かあるか。</p>
府川減量推進係長	<p>本日、ロードマップについて各委員にご意見をいただいたが、市としては処理計画を進めながらロードマップの作業を行うのは作業量が非常に多くなるため、やはり処理計画の作成を</p>

(審議過程) 主な発言等

	<p>優先としたいと考えている。本日いただいたご意見を踏まえて具体的な施策も検討しながら、次回のごみ量等、今回示すことができなかった項目も整理したうえでお示しできればと考えている。</p>
渡辺会長	<p>他に何か事務局から報告はあるか。</p>
深澤ごみ対策課長	<p>(水銀回収キャンペーンについて説明)</p>
岸野委員	<p>このキャンペーンは、登り旗を作製する予定はあるか。</p>
深澤ごみ対策課長	<p>期間限定のため作製する予定はない。回収場所については、水銀の取扱いにはかなり配慮が必要であるため、有人の施設として公民館等で回収しているが、公民館の入り口には紙で回収場所であるということがわかるように表示はしている。</p>
石原委員	<p>自治会単位で回収しても問題ないか。</p>
高田係長	<p>構わない。</p>
勝又委員	<p>対象は水銀の体温計のみか。</p>
高田係長	<p>血圧計も水銀を使用していれば対象となる。ただし、事業用はお断りしている。</p>
渡辺委員	<p>以上をもって令和2年度第3回小金井市廃棄物減量等推進審議会を終了する。</p>